

平成29年度 統一的な基準による 岩内町一般会計等の財務書類について

■地方公会計財務書類とは

町の資産の状況や資金・純資産の動きを民間企業が行っている複式簿記の方式を用いて、4つの財務書類に表したものです。

平成27年度決算から総務省の統一的基準により作成しています。

この表をさらに分析したり、他の町と比較することで、改善すべきところが見えてくるなど、健全な財政運営への効果が期待できます。



■貸借対照表

左側は、町が持っている土地や建物・お金などの資産を、右側は、その資産を借金をして持っている資産（負債）と純粋な資産に分けて表しています。

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|------------------------------------|--------------|-----------------|--------------|
| 公共資産 庁舎、学校、美術館や 道路、橋、公園などの資産 | 2,461,577 万円 | 固定負債（町債など） | 1,126,451 万円 |
| | | 流動負債（短期の借入金など） | 121,733 万円 |
| 投資等 投資や出資金、基金など | 126,087 万円 | 負債の合計 A | 1,248,184 万円 |
| | | 純資産の部 | |
| 流動資産 現金や未収金など | 30,964 万円 | 純資産の合計 B | 1,370,444 万円 |
| 資産合計 | 2,618,628 万円 | 負債及び純資産の合計(A+B) | 2,618,628 万円 |

■資金収支計算書

町の資金が1年間でどれくらい増減したかを次の3つに分けて表しています。

| | |
|--------------------------|------------|
| H28年度末の資金残高 A | 8,563 万円 |
| H29年度の資金の動き (1+2+3) B | △ 5,184 万円 |
| 1 経常的なもの | △ 8,991 万円 |
| 2 資本的なもの | △ 6,735 万円 |
| 3 町債の借入や返済など | 10,542 万円 |
| H29年度末の資金残高(A+B) | 3,379 万円 |

■純資産変動計算書

純資産が1年間でどれくらい増減したかを次の3つに分けて表しています。

| | |
|---------------------------|--------------|
| H28年度末の純資産残高 A | 1,430,939 万円 |
| H29年度の純資産の動き (1+2+3) B | △ 60,495 万円 |
| 1 経常的な行政コストなど | △ 622,257 万円 |
| 2 純資産の調達財源 | 559,566 万円 |
| 3 資産の形成など | 2,196 万円 |
| H29年度末の純資産残高(A+B) | 1,370,444 万円 |

■行政コスト計算書

町の経費のうち、人件費や維持補修費などの日常的な経費が1年間でどれくらいかかったのかを表しています。

| | |
|-------------------|------------|
| 経常的な支出(1+2+3+4) A | 659,484 万円 |
| 1 人件費（職員給料など） | 123,124 万円 |
| 2 物件費（維持補修など） | 220,678 万円 |
| 3 他会計への支援、補助金など | 306,952 万円 |
| 4 町債の返済金など | 8,730 万円 |
| 経常的な収入 B | 29,670 万円 |
| 経常的な行政コスト(A-B) C | 629,814 万円 |
| 臨時的な損失 D | 0 万円 |
| 臨時的な利益 E | 7,557 万円 |
| 純行政コスト(C+D-E) | 622,257 万円 |

■純資産の増減とは

借金を返済することで増えたり、建物の老朽化や土地の売却などで減ったりします。



■問合せ

岩内町経営企画部
企画財政課 財政係
☎0135-62-1011（内線217）